

金沢大学の取組

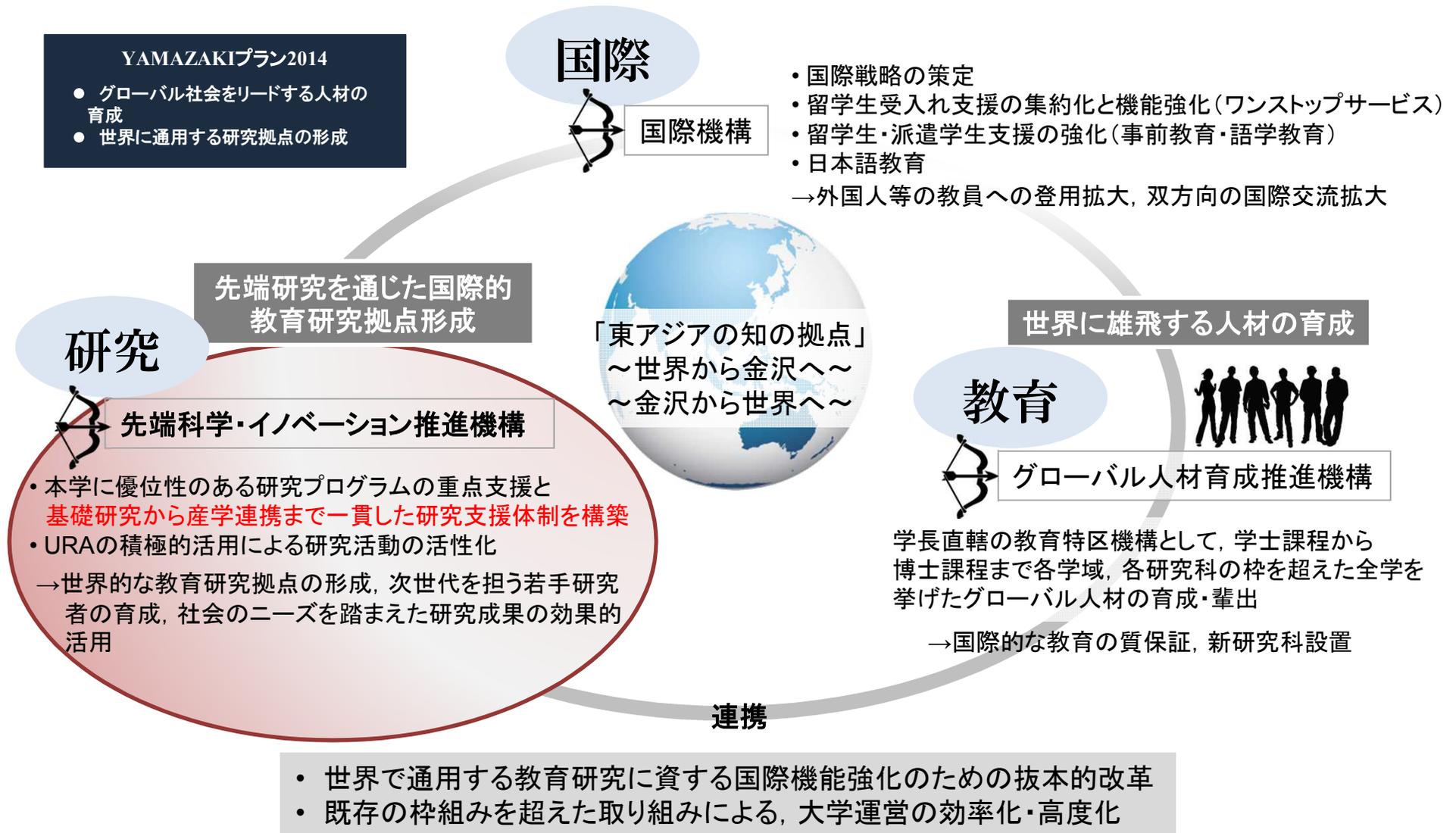


金沢大学
理事（総括・改革・研究・財務担当）
/先端科学・イノベーション推進機構 機構長

向 智里

グローバル化に対応する大学改革の強化推進

教育・研究・国際の「三本の矢」による一体的組織改革

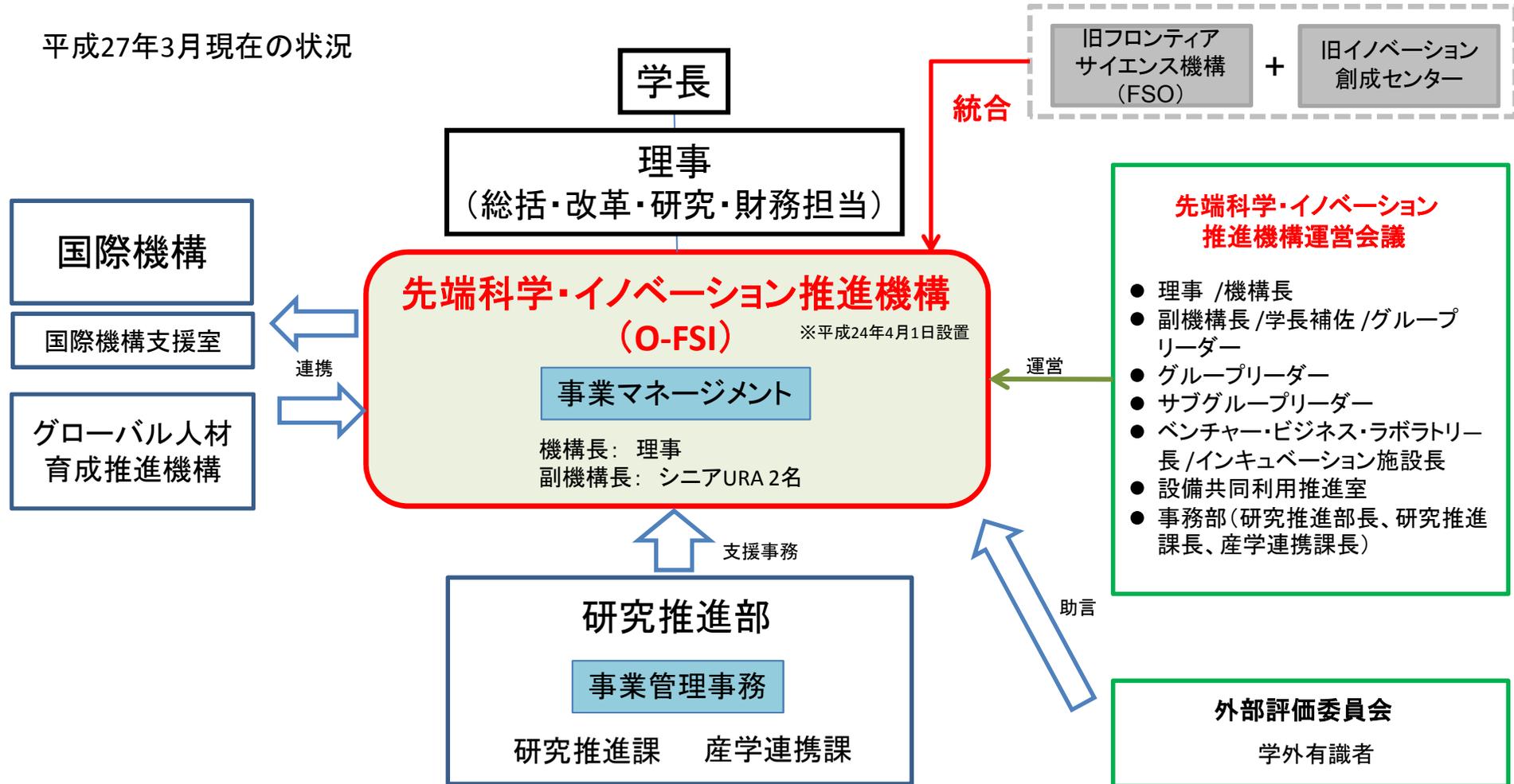


研究戦略・推進支援と産学官連携支援を融合した組織

一部局として位置づけられ、人件費を含めて年間約1億円の予算が措置されている。

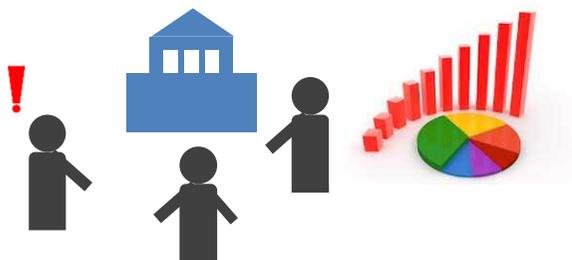
また、パーマネントの研究支援専門職教員用ポストも保有している(教授1+准教授2+助教2=合計5)。

平成27年3月現在の状況

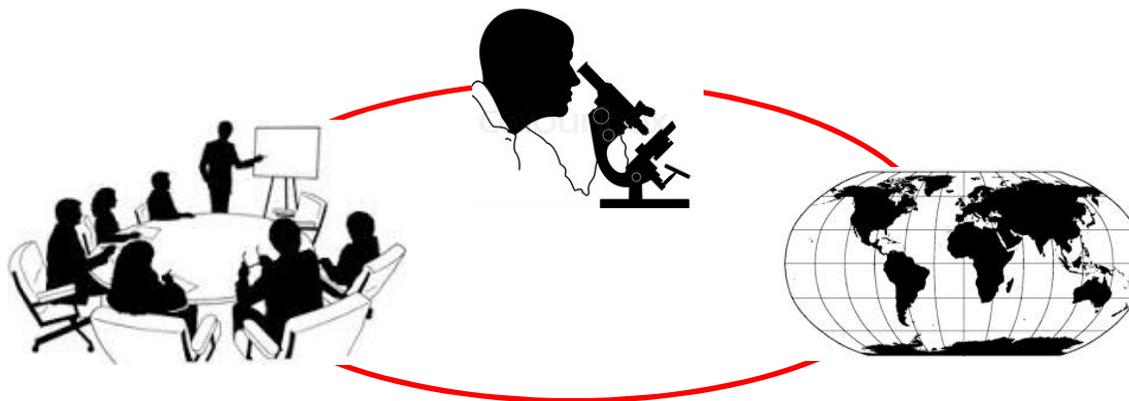


金沢大学URA活動の特徴

- 研究戦略立案の支援
(大学改革にも関わる。研究力分析Institutional Researchの強化)



- 研究・産学連携・国際連携・大学院教育を一体的に支援
(支援案件の壁がない→学内の情報・課題がURAに集約)



旧 フロンティアサイエンス機構
研究推進担当URA 4名

旧 イノベーション創成センター
産学連携・知的財産管理担当URA 7名

統合

新組織

H24.4.1設置

先端科学・イノベーション推進機構

研究部門(重点研究プログラム等)

アドミニストレーション部門

* 主担当・副担当により、各グループを兼任

URA 15名 (H27.3.14現在)

研究戦略・ 企画調整グループ

- 研究戦略・国際戦略
産学官連携戦略策定のための情報収集・調査・分析・IR
- 戦略の企画立案・調整
- 各部局の戦略機能強化支援
- 研究支援人材育成・体制の整備

研究推進グループ

- 外部資金獲得支援
- 研究・教育研究プログラムの推進支援
- 研究グループ育成及び支援
- 若手研究者育成

コーディネート推進 グループ

- 産学官連携の推進支援
- 研究成果のPR・産業育成の先導
- 地域イノベーション創出の推進支援
- 協力会

知財推進グループ

- 知的財産戦略・管理
- 共同研究・受託研究支援
- 技術移転
- 起業化支援
- リスクマネジメント

基礎研究

応用研究

研究推進・知的財産管理・産学官連携を一体的・戦略的に実施するシステム改革

産学官連携

金沢大学URAの担当内訳

H27. 3.14現在のデータ

(重複あり、延べ人数)

グループ名	主担当	副担当
研究戦略・企画調整グループ	シニアURA 1名(*兼任) URA 3名	URA 4名
研究推進グループ	シニアURA 1名 URA 3名	シニアURA 1名 URA 9名
コーディネート推進グループ	シニアURA 1名 URA 3名	URA 4名
知財推進グループ	シニアURA 2名 URA 2名	URA 3名

全て専任URA	シニアURA	URA	計
	4名	10名	15名

* +兼任1名

金沢大学におけるURAの研究支援業務フロー



金沢大学URAによる研究支援状況

平成24年度 28事業, 159件支援(うち81件採択) 採択率 50.9% (科研費含む)

平成25年度 24事業, 222件支援(うち114件採択) 採択率 51.4% (科研費含む)

平成26年度 30事業, 102件支援(うち37件採択) 採択率 36.2% (科研費含まず)

- スーパーグローバル大学創成支援事業 1件採択
- スーパーグローバルハイスクール 1件採択
- ユネスコ活動費補助金 グローバル人材育成に向けたESDの推進事業 1件採択
- 平成26年度官民協働海外留学支援制度 4件採択
- 課題解決型高度医療人材養成プログラム 1件採択
- 国費留学生の優先配置を行う特別プログラム 2件採択
- 大学等ニーズ・シーズ創出強化支援事業(COIビジョン対話プログラム) 1件採択
- SIP(戦略的イノベーション創造プログラム) 3件採択
- 大学教育再生加速プログラム 1件採択
- 我が国の未来を拓く地域の実現に関する調査事業 1件採択
- 頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム 1件採択
- 国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム 2件採択

平成26年度

中・上級者向け研究マネジメント人材養成プログラムの開発

目的

初級URAを対象とする研修・教育プログラムを踏まえ、シニアURA等の中・上級者向け研究マネジメント人材の能力向上に資する研修・教育プログラムを開発

対象

URA相当の業務経験, 研究マネジメント経験等を10~15年程度有する人材を想定

研修形態

ケーススタディによる研修

科目

- ① 研究プロジェクト企画・運営
- ② 研究戦略立案
- ③ 大学マネジメント

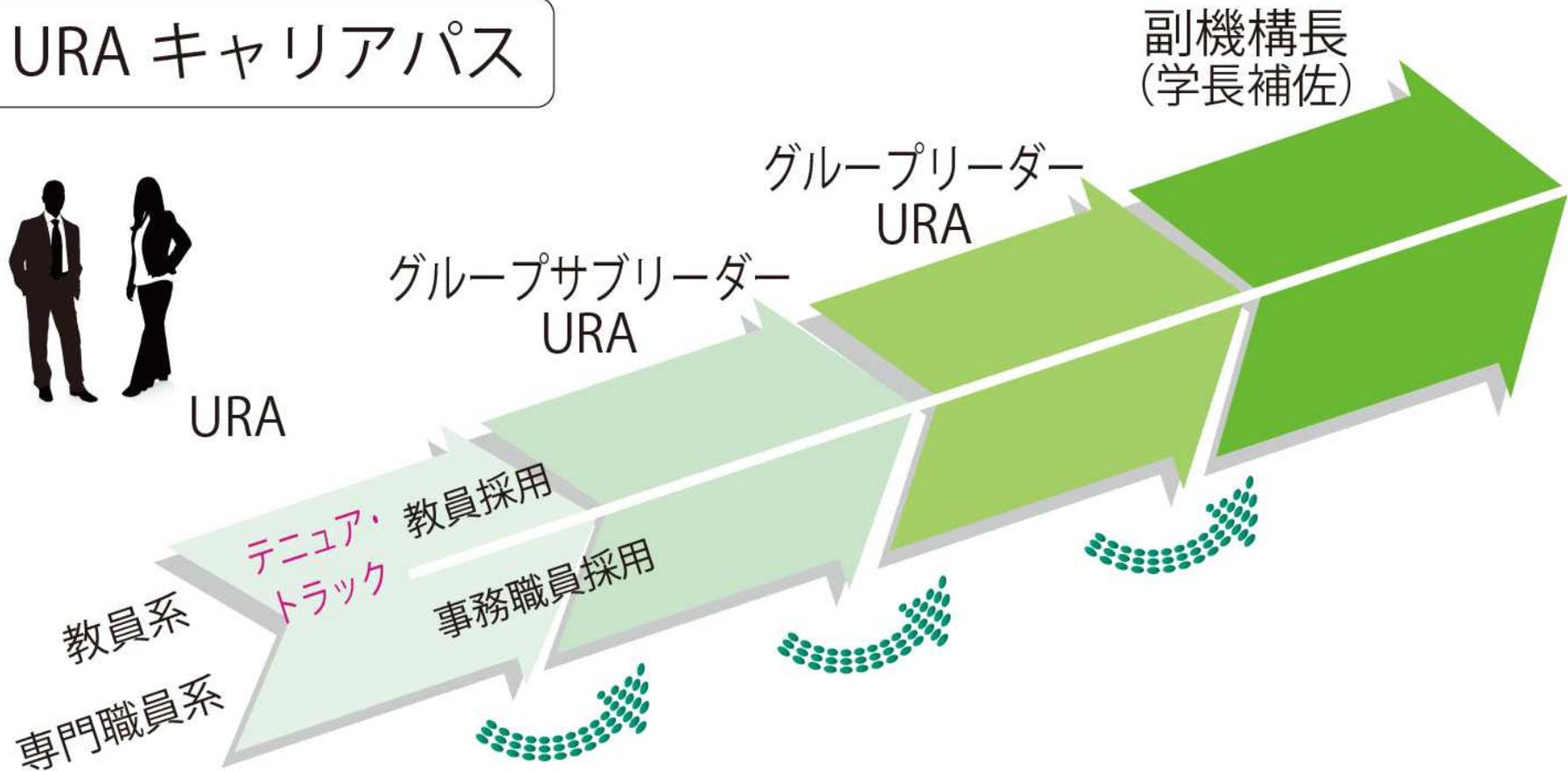
試行

9月18日 第一回試行 第4回URAシンポジウム・第6回RA研究会合同大会 北海道大学
2月10日 第二回試行 金沢大学
3月 6日 第三回試行 東京 TKP品川カンファレンスセンター



URA人事制度についての検討

URA キャリアパス



テニユアURA (H27.3月現在)

- ・教授1名、准教授2名、助教2名
- ・専門職員1名

URAのネットワーク形成

本学URAが立ち上げ

RA Research Administration 研究会

リサーチ・アドミニストレーション研究会



リサーチ・アドミニストレーター協議会発足へ



第4回RA研究会

	開催日	場所	主催	参加人数、機関数	内容詳細
第1回	H22/2/5	東京	金沢大	参加人数:48名 機関数:28	WS1:研究推進の部 WS2:産学連携の部
第2回	H22/11/21	東京	金沢大	参加人数:66名 機関数:37	WS1:URA職確立のためには WS2:URAはどう研究推進・産学連携を進めていくか
第3回	H23/12/9	金沢	金沢大	参加人数:94名 機関数:39 (文科省URA事業・H23年度採択5校決定後)	WS1:効果的なスキル向上 WS2:URAにおける産学連携 WS3:URAと大学戦略
第4回	H24/9/4	東京	金沢大・農工大	参加人数:203名(登録) 機関数:78(登録) (文科省URA事業・H24年度採択10校決定後)	WS1:研究者ニーズと日本版URAのあるべき姿 WS2:日本版URA人材の育成 WS3:日本版URAの外部ネットワーク形成
第5回	H25/11/18-19	京都	文科省URA事業採択校	約500名	セッション数 全24 (文科省事業URAシンポジウムと合同)
第6回	H26/9/17-18	北海道	RAネットワーク設立準備委員会	約500名	セッション数 全22 (文科省事業URAシンポジウムと合同)

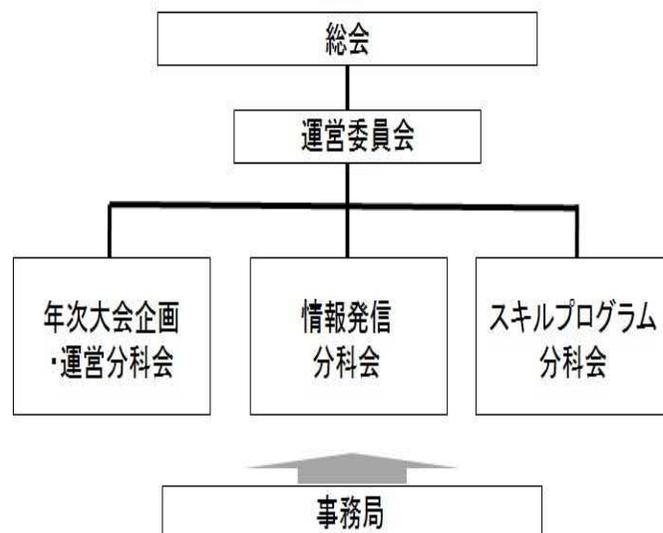
リサーチ・アドミニストレーター協議会

平成27年3月11日 設立総会にて正式発足

活動内容

- 会員間の業務連携に資する活動, 全国的な体制の構築及び運営
- 人材育成等を目的とした研究会, 講習会の開催等及び能力の認定
- 大学等のリサーチ・アドミニストレーション業務に関する情報交換等の促進, 情報発信
- 国内外の諸団体等との連絡, 交流, 対話, 協力及び提携
- 大学等のリサーチ・アドミニストレーション業務の啓発及び普及活動

組織



組織会員 14機関 (H27.3月現在)

- ・東京農工大学
- ・金沢大学
- ・福井大学
- ・信州大学
- ・京都大学
- ・大阪大学
- ・神戸大学
- ・徳島大学
- ・長崎大学
- ・首都大学東京
- ・関西大学
- ・情報・システム研究機構
- ・奈良先端科学技術大学院大学
- ・沖縄科学技術大学院大学

* 個人会員も募集